


政策1 農林業の振興


施策1 農業の振興

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
農業団体支援事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による“環境の都”づくり	農林振興課
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	721, 128	
一般	6	1	3		
目的					
都市農業振興クラブをはじめとする各農家団体の円滑な活動を推進し、組織運営及び知識向上を目指します。					
内容					
市内の農業者で組織されている都市農業振興クラブやふれあい朝市実行委員会など、農業団体の組織運営や研修、地元産農林産物のPRイベントの企画運営などの活動を支援します。					
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>ふれあい朝市(市民ひろば)</p>  </div> <div style="width: 50%; border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;"> <p>ふれあい朝市(市民ひろば)</p> </div> </div>					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
農業団体の中でも特に農業の中核的な担い手で構成される都市農業振興クラブ員の数を維持します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
36人 (平成21年度)	目標	38人以上を維持	38人以上を維持	38人以上を維持	38人以上を維持	38人以上を維持
	実績	38人	38人	38人	37人	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 農家組合長連絡協議会をはじめとする農家団体の活動を支援し、団体において様々な取組が行われました。 タケノコ直売会、ガラシャ祭・農業祭での生鮮野菜の直売会、ふれあい朝市の開催、郷土料理伝承教室等の実施、学校給食への地元産農産物の供給等により、地産地消・地元産農産物のPRに努めるとともに、生産技術の向上を図りました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できた(目標の80%~100%)				
<ul style="list-style-type: none"> 市民の食の安心・安全への意識が高まっており、農業や地元産農産物への関心も高まっています。 農業従事者の高齢化が進んでおり、目標には届きませんでした。一方で新規就農者が各種農業団体に参画するなどの動きが見られます。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 中核的な担い手農家及びその担い手農家になる可能性のある専業農家で組織している長岡京市都市農業振興クラブが各種事業に取り組むことにより、後継者同士の絆を深められる環境をさらに整えることが必要です。 農家組合長連絡協議会をはじめとする農家団体の円滑な活動を推進し、知識や生産技術の向上が図られるように団体の活動を支援します。 食の安心・安全などの市民ニーズに応えるために、各農家団体の円滑な活動を推進し、更なる知識や生産技術の向上が必要です。 						

政策1 農林業の振興


施策1 農業の振興

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
特産物育成事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による“環境の都”づくり	農林振興課
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	4,331,000	
一般	6	1	3		
特産品(花菜)					
					
目的					
<p>地元で根ざした安心で安全な農産物を供給する基盤を確保します。</p>					
内容					
<p>水稲の転作による特産野菜の産地育成など地元消費者の信頼確保による地産地消を推進します。</p>					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
<p>主要作物（花菜・ナス及びタケノコ）の生産量を維持します。</p>						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
・花菜62t ・ナス223t ・タケノコ650t (平成21年度)	目標	花菜62t ナス200t タケノコ600t以上を維持	花菜62t ナス200t タケノコ600t以上を維持	花菜62t ナス200t タケノコ600t以上を維持	花菜62t ナス200t タケノコ600t以上を維持	花菜62t ナス200t タケノコ600t以上を維持
	実績	花菜61t ナス226t タケノコ594t	花菜71t ナス213t タケノコ696t	花菜71t ナス202t タケノコ504t	花菜58t ナス181t タケノコ738t	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・タケノコ皮を原料とした堆肥の有効利用や独自の有機肥料の使用、栽培履歴の管理等により、特産野菜（花菜・ナス）の減化学肥料を推進しました。 ・特産野菜（花菜・ナス）振興のための品評会の開催や花菜の販売促進にかかる支援を行いました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できた（目標の80%～100%）				
<p>・消費者である市民の食の安心・安全への意識の高まりにより、地元産農産物への期待がますます強まっています。</p>						
課題と今後の対応						
<p>・本市特産物（タケノコ、ナス、花菜等）の競争力の向上が必要です。そのために、安全な堆肥を使用しての土壌づくり・減農薬・減化学肥料による安心・安全な農産物栽培を推進します。</p>						

政策1 農林業の振興


施策1 農業の振興

事務事業の概要				
事務事業名称				担当課
有害鳥獣対策事業				農林振興課
予算科目			決算額(円)	金網防護柵設置位置図 
会計	款	項	目	
一般	6	2	1	
1,318,304				
目的				
有害鳥獣の被害のない農作物の安定した生産環境を確保します。				
内容				
捕獲計画に基づいて有害鳥獣の捕獲を進めます。				

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
有害鳥獣による被害面積を減らします。（平成21年度比）						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
523a (平成23年度)	目標	155a	150a	313a ※25年度からの目標値	250a	130a
	実績	被害面積 523a ※算定方法の見直し	被害面積 394a	被害面積 226a	被害面積 203a	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 有害鳥獣捕獲で、イノシシ10頭・シカ7頭・カラス10羽を捕獲しました。 平成21年度から実施している広域捕獲（京都市、大山崎町との連携による2市1町）により、イノシシ8頭・シカ6頭を捕獲しました。 市内全域に設置している防護柵の維持修繕に対する技術的指導及び資材費等の支援を行いました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた（目標の100%以上）				
<ul style="list-style-type: none"> 被害面積は減少傾向です。 広域的な有害鳥獣捕獲実施により、里に下りてくるイノシシ・シカは減少傾向です。 広域的な防護柵設置とその維持修繕により、これまで甚大な被害により農作物の収穫が困難となっていた圃場において収穫が行えています。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 設置済みの広域的な防護柵の維持管理に必要な技術的指導を継続的に進めていく必要があります。防護柵等への被害を与える野生鳥獣の傾向等を継続的に調査し、その対応策の検討と農業者への指導を進めていく必要があります。防護柵の維持管理については、継続して維持修繕に必要な資材費等の支援をするとともに、専門知識を有する方の協力を得つつ、技術指導を進めます。 有害鳥獣捕獲事業等により、個体数調整を継続的に実施していく必要があります。野生動物の個体数調整については、これまでと同様に猟友会の協力により捕獲を進めていきます。 						

政策1 農林業の振興

施策1 農業の振興

事務事業の概要				
事務事業名称				担当課
地産地消推進事業				農林振興課
予算科目			決算額(円)	
会計	款	項	目	1,601,471
一般	6	1	3	
目的				
地産地消による地元産農産物の生産及び需要の拡大を推進し、「地域」と「食」の結びつきを深め、安心・安全、新鮮な食材を市民（企業市民）に提供することにより、本市の農業の振興を図ります。				
内容				
販路拡大（企業などへの地元産農林産物のPR）、学校給食などへの地元産農林産物の供給（食育への地元農家の貢献）、販売拠点の確保に取り組みます。				
農業祭(地元産野菜の直売)				
				

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
地元納入先（学校給食を含む）への地元産農林産物の納品実績金額を増やします。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
323万円 (平成21年度)	目標	330万円	335万円	345万円	355万円	365万円
	実績	444万円	467万円	736万円	832万円	
平成26年度の事業内容						
・企業などへ地元産農林産物のPR。学校給食等への地元農産物の供給等の充実に取り組みました。						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた（目標の100%以上）				
・学校給食や企業の社員食堂等への納品を継続的に実施したことから、目標を達成することができました。						
課題と今後の対応						
・消費者と生産者を結びつける取り組みを強化することと、販路拡大（企業等への地元産農産物のPR）、学校給食等への地元農産物の供給（食育への地元農家の貢献）、販売拠点の確保などに取り組みます。						

政策1 農林業の振興

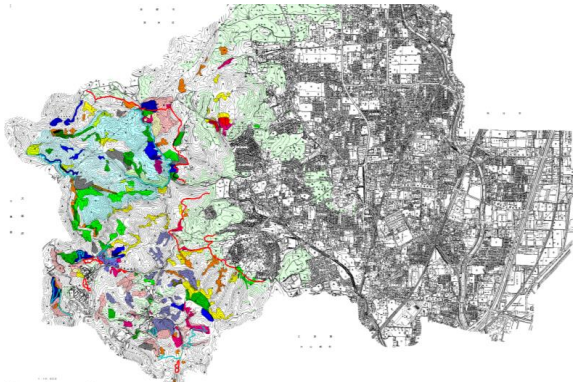
施策1 農業の振興

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
農業委員会運営事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による“環境の都”づくり	農業委員会事務局
予算科目			決算額(円)		
会計	款	項	目	9,107,413	
一般	6	1	1		
農業委員会総会					
					
目的					
優良農地の確保、農地の荒廃防止、担い手認定農家等の経営規模の拡大を目指します。					
内容					
農地台帳システムなどを活用した農地の利用形態の確認や、各集落の農業委員会活動による担い手農家の掘り起こしを行い、農地の利用集積を進めます。					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
優良農地の保全と担い手農家などの効率的な農業経営を推進するため、農地の利用権設定（貸借）の面積を拡大します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
240a (平成21年度)	目標	280a	285a	290a	295a	300a
	実績	282a	311a	342a	325a	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 管内農地全筆の利用状況調査を実施し、遊休農地等の所有者に対して農地銀行への登録を促し、また、農地中間管理機構とも連携を図り、貸借のあっせんを進めました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた（目標の100%以上）				
<ul style="list-style-type: none"> 農業委員や地元農業者等からの情報提供及び農地利用状況調査の結果を活用し、農地銀行への登録を促し、また、農地台帳システムの活用により農地管理に関する情報を逐次把握することで、目標指標の達成に繋がりました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 農業者の高齢化、後継者不足や土地持ち非農家の増加が進む中、農地の遊休化を防止し、優良農地を保全することが重要です。 農地台帳システムを活用し、農業委員の活動による遊休農地所有者と担い手農家のマッチングを行い、農用地の利用集積を更に進めます。 農地銀行の制度活用やPRを行うとともに、農地中間管理機構と連携を図りながら農用地の利用集積を進めます。 						

政策1 農林業の振興

施策2 森林（里山）の保全

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
造林・除間伐推進事業				市民が誇る「水」と「みどり」の保全・再生による“環境の都”づくり	農林振興課
予算科目			決算額(円)		
会計	款	項	目	25,114,703	
一般	6	2	1		
森林整備実績(平成26年度末現在)					
					
目的					
西山の森林を適切に管理することにより、水源かん養や保健休養機能などの公益機能の回復を目指します。					
内容					
西山の森林機能を維持するとともに、望ましい里山林を保全するために必要な森林施業の推進と作業道などの整備を図ります。					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
植樹や下刈り、除伐、間伐、改良、竹林整備、整理伐などが行われる里山林の施業面積を拡大します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
133ha (平成21年度)	目標	150ha	160ha	170ha	180ha	190ha
	実績	159ha	168ha	178ha	189ha	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・長岡京市森林組合に業務委託を行い、森林整備を11.94ha実施しました。 ・森林整備の内訳は、間伐3.82ha（内利用間伐1.47ha）、天然林改良4.16ha、除伐3.46ha、侵入竹整理伐0.50ha、作業道開設689m 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた（目標の100%以上）				
<ul style="list-style-type: none"> ・森林所有者・NPO・企業・学識経験者・行政等により、平成17年に立ち上げられた「西山森林整備推進協議会」が平成18年に策定した「西山森林整備構想」に基づき事業の進行を図りました。 ・環境林整備事業補助金などの財源の積極的な活用により、目標を超える面積の森林整備を行うことができました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい里山林にするために、西山に相応しい森林整備方法を確立することと、間伐材の搬出を考えた作業道や施業路の整備が必要です。このために、森林所有者の合意に基づく作業道・施業路の整備を行い、間伐材の搬出と利用促進を図ります。 ・これまで実施した森林整備の検証を行いつつ西山森林整備推進協議会と連携を図り「西山森林整備構想」の見直しを行います。 ・西山に相応しい森林整備方法を確立し、持続的な整備を実施します。 						